さやま保育園保護者のみな様

**新年度にあたって感染症対策のお願い**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　さやま保育園　園長　小池俊章

　新型コロナウイルス感染症に関しましては、ワクチンの接種は徐々に始まっていくようですが、一方で、以前より感染しやすいと言われる変異型ウイルスの拡大が心配される中、新年度を迎えました。さやま保育園では、今まで通り、手洗い･こまめな換気･大人のマスク着用･体調管理･検温･消毒など、できる限りの感染症拡大予防に努めてまいりたいと思います。

しかしながら、園は、子どもたち同士、子どもたちと職員が密接に関わり合いながら、生活する場所であり、そうした関わりは、子どもたちの発達にとって不可欠です。保育園は、第一に、子どもたちの育ちを日々支援する場所であり、新型コロナウイルス感染症に限らず、感染症すべてを完全に予防することは不可能であると考えます。

園では、子どもたちの健康観察に努め、いつもと様子が違うとき（体温が37.5度以上の時など）は、こまめに連絡させていただきます。お子さんの体調管理や受診等に関しましては、保護者の皆様の責任で判断していただきますようお願いいたします。また、感染拡大予防のため、周辺で感染が起きた場合には、自粛保育や臨時休園になるなど、保護者の皆さまにご不便をおかけすることもあると思われます。

職員も、体調の悪いときは出勤を控えております。全職員で安全な保育に努めますが、何より職員の健康が、子どもの健やかな育ちに繋がると考え、今年も働き方改革を進めてまいります。そこで、特別保育（土曜日･お盆･正月･年度末）は、職員の出勤を減らしています。どうしても保育が必要なご家庭のみの申込制にしています。また、感染症拡大防止のためにも、早めのお迎えや、平日の家庭保育にも協力いただきたいと存じます。職員も、不安と緊張の中で1年間を過ごしてまいりました。終息まで、子どもたちの成長発達を中心に置いた保育をすすめていくために、どうかご協力をお願いいたします。

また、感染症に対する、根拠のない誹謗中傷には、くれぐれもご配慮いただきたいと存じます。

昨年度は、園児も職員も、以前に比べて病気での欠席が少なくなりました。これは、保護者のみなさんと共に、感染症対策に取り組んだ賜であると感謝いたします。ワクチン接種が始まり、終息も遠い将来の話ではなくなっているようですから、保護者のみな様と力を合わせて、この苦境を乗り越え、子どもたちの保育に取り組んでまいりたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合掌

〔新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防対策〕　（令和３年度園のしおりより）

① 毎朝の健康観察をお願いします。睡眠時間・朝ご飯の様子・体温・咳・気になるこ　となど記録します。37.5度以上の時(いつもと違う様子の時)は、お預かりできません。

※いつもと違う様子とは、咳鼻くしゃみ等のかぜ症状がある時や、嘔吐下痢の症状の時、元気がなく食欲のない時などは、登園せず自宅で休養することをおすすめします。

※同居家族の体調にも気をつけましょう。

② 朝夕の送迎時は、入口で検温し、手指の消毒を親子でして、保護者はマスク着用で園内にお入りください。密にならないよう保護者のみなさま同士でご配慮いただき、10分以内で送迎をお願います。（駐車場でのお話も控えてください）

③ 緊急事態宣言が出ている地域･感染拡大地域への往来があった方、体調のお悪い方は、園内には入れません。インターフォンにてお知らせいただき、エントランスでの送迎をお願いします。

④ お仕事終了後は、早めのお迎えにご協力いただき、ゆっくり休息と栄養をとってお過ごしください。（お仕事がお休みの日は家庭で過ごされてもいいです）

⑤ 園児や職員が感染した場合、山口市保育幼稚園課及び保健所の指導のもと、臨時休園にするかどうかの判断が出ます。保育園での感染拡大を防ぐためにも、少しでも早く対応できるように『園児が感染した場合』『園児が濃厚接触者に特定された場合』（当該園児は登園できません）、速やかに、保育園へ連絡をお願いします。

※PCR検査に係る｢検査日｣、「検査結果が出る日」、｢結果｣について、それぞれ判明次第速やかに報告ください。個人情報及びプライバシーについては、十分に配慮いたします。

◎感染症は、どこでどのように発症するかわかりません。感染者が発生しても、偏見や差別は決してあってはいけません。噂を広めることは厳に慎みましょう。

◎保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。登園に際しては、

　＊園内での感染症の集団発症や流行につながらないこと。

　＊子どもの健康状態が（食欲1/2）保育園での集団生活に適応できる状態に回復していること

に、ご配慮願います。